

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 28 年 3 月 31 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業	
企画名	
平成 27 年度厚生労働省委託事業 街頭イベント 『GIFT～緩和ケアをもっと身近にあなたのもとへ～』	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
公式ホームページでの事前告知、情報誌・新聞への告知掲載、 関連団体・病院等へのちらし配布	
当日の実施内容について	
日時(期間)	2016 年 1 月 10 日(日) 10:30 ~17:00
実施場所	ナディアパーク [愛知県名古屋市中区栄 3-18-1]
参加人数	一般市民、参加費無料(定員なし)
<p>具体的な実施内容:</p> <p>< プログラム ></p> <p>ミニレクチャー: 緩和ケアの専門家による講演(1回 20 分間/5 テーマ・プレゼンテーション)</p> <p>I. 「緩和ケアってなに?」 下山 理史 氏(愛知県がんセンター中央病院)</p> <p>II. 「痛みの治療ってどんなもの?」 細川 豊史 氏(京都府立医科大学)</p> <p>III. 「がんの不安や心配はどうすればいいの?」 明智 龍男 氏(名古屋市立大学医学部附属病院)</p> <p>IV. 「お金や仕事の心配はどうすればいいの?」 粕田 剛資 氏(名古屋大学医学部附属病院)</p> <p>V. 「いろんな生活の心配はどうすればいいの?」 向井 未年子 氏(愛知県がんセンター中央病院)</p> <p>VI. ～公募紹介～がん治療の中で医療スタッフから「カづけられた」一言～ キャンペーン・メッセージャー たかまつなな</p> <p>< 展示他 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 街中「がん相談室」: 東海地区三県(愛知県・岐阜県・三重県)の病院や相談支援センターの相談支援員など、 気軽に医療従事者に相談することができる出張がん相談室を設置 ◆ クイズラリー: 展示したリーフレットパネルの内容から回答、回答者にはノベルティを配布 ◆ その他: 団体ブースへの資料設置、病院紹介パネルの設置、ボードアンケートなど 	

効果について(アンケートの結果など)

《アンケートでの意見(抜粋)》

- ◆ 緩和ケアについて知る良い機会になったという意見や、講演を聴き心の準備ができたという意見、早期からの緩和ケアへの理解が広まって欲しいのでまた実施して欲しいなど、概ね好意的な意見が多かった。
- ◆ 緩和ケアが無料と知れたことが収穫という意見や、医療従事者として緩和ケアを理解しているつもりだったが、家族としてがんに直面すると様々な困難があり、患者家族として講演を聴けよかったという意見を頂いた。
- ◆ 前職はハードで各自の業務調整は難しく、勤務時間を優先した転職をしたので給与が激減したが、治療のためでも仕事を調整できない職場も多いのではという意見があった。
- ◆ オープンスペースで子どもと見れて良かったという声や、お笑いのネタが面白かったという声があった。
- ◆ 相談でき気持ち楽になったという意見や、相談をして講演を聴けなかつたためイベント途中で講演を一巡させて欲しいという声があった。また、もっと具体的な話が聞きたいという声もいただいた。
- ◆ TV放映を見て来たという声もあったが、集客があるべきイベントなので宣伝に力を入れて欲しいという意見や、看板・広告「がんの緩和ケア」とがんを大きく記載する方が、集客につながるのではという意見をいただいた。
- ◆ インターネット上に、緩和ケアに関する情報をもっと充実して欲しいという意見をいただいた。

その他報告

イベント会場では講演の他に、東海地区の病院等や愛知県内の患者支援団体(特定非営利活動法人いずみの会、ホスピス研究会 OKAZAKI、特定非営利活動法人ミーネット、がん心のケアの会)と、当会資料を設置するPRブースを設置し、来場者が緩和ケアに関する情報を得られるようにした。

【緩和ケア講座・プレゼンテーション】

開始早々から参加が集まり、緩和ケアやその他のがんに関する心配ごとに関する専門家による講演を熱心に聴講いただいた。レクチャー間には本年度の普及啓発活動に協力して頂いているお笑い芸人たかまつななさんのステージや、たかまつななさんと当会委員による緩和ケアの紹介ステージを行い、幅広い世代に緩和ケアへの理解を呼びかけた。

【街なかがん相談室】

街なかがん相談室はイベント会場と別室に設置して、各相談窓口の間にも仕切りを設けることでプライバシーに配慮した空間で、様々な相談を個別で受けられるよう配慮した。

【ボードアンケート】

結果は、緩和ケアを知っている：屋内43・屋外13、知らない：屋内30・屋外66、医療用麻薬を知っている屋内43
知らない屋外14と、緩和ケアや医療用麻薬に対する認知度が、会場内では高く会場外では低いという結果となった。

これは本イベントに足を運んだ方は緩和ケアや医療用麻薬について、一定の認識があるが一般的には広い認識がまだ及んでいないことが示されたといえる。幅広い世代への普及啓発の重要性を再度認識し、後も更なる普及啓発を進める。

●当日の写真



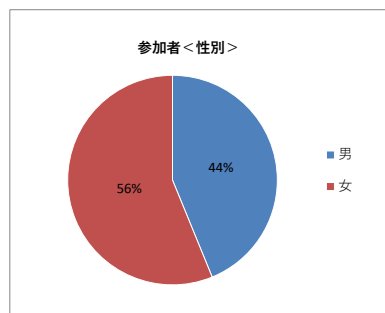
平成27年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動
街頭イベント「GIFT～緩和ケアをもっと身近にあなたのものへ～」
アンケート調査集計(グラフ)

参加者数	740
アンケート回収数	93
回収率	13%

1:あなたについて教えてください

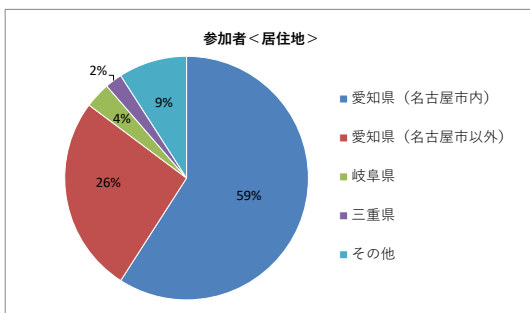
参加者<性別>

	男	女	合計
人数	39	50	89



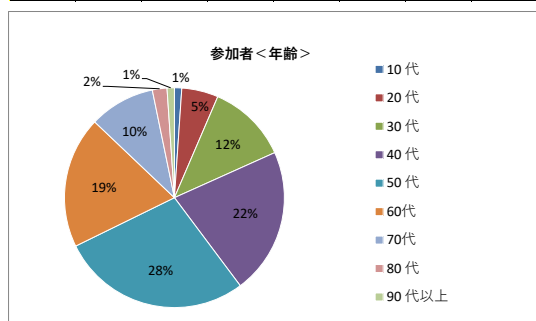
参加者<居住地>

	愛知県(名古屋市内)	愛知県(名古屋市以外)	岐阜県	三重県	その他	合計
人数	52	23	3	2	8	88



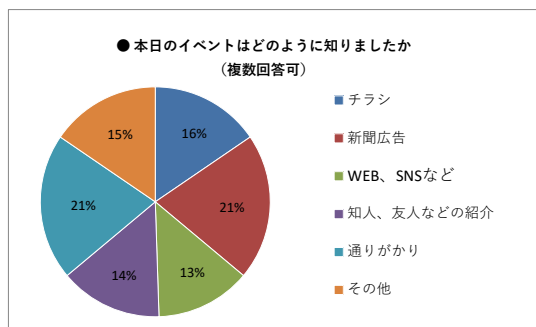
参加者<年齢>

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計
人数	1	5	11	20	26	18	9	2	1	93



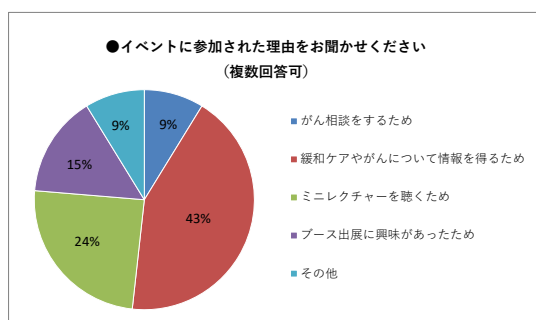
●本日のイベントはどのように知りましたか(複数回答可)

	チラシ	新聞広告	WEB、SNSなど	知人、友人などの紹介	通りがかり	その他	合計
人数	15	20	13	14	20	15	97



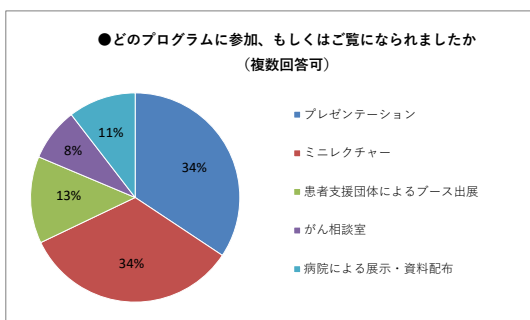
●イベントに参加された理由をお聞かせください(複数回答可)

	がん相談をするため	緩和ケアやがんについて情報を得るため	ミニレクチャーを聴くため	ブース出展に興味があったため	その他
人数	10	49	28	17	10



●どのプログラムに参加、もしくはご覧になりましたか(複数回答可)

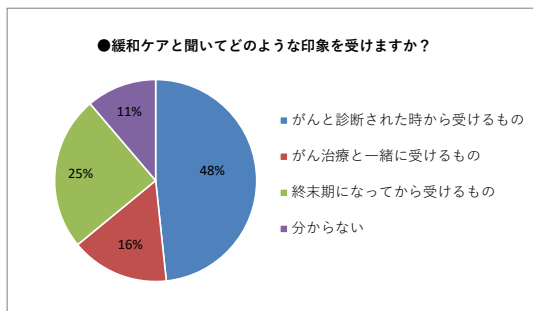
	プレゼンテーション	ミニレクチャー	患者支援団体によるブース出展	がん相談室	病院による展示・資料配布
人数	46	45	18	11	14



平成27年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動
街頭イベント「GIFT～緩和ケアをもっと身近にあなたのものへ～」
アンケート調査集計(グラフ)

●緩和ケアと聞いてどのような印象を受けますか？

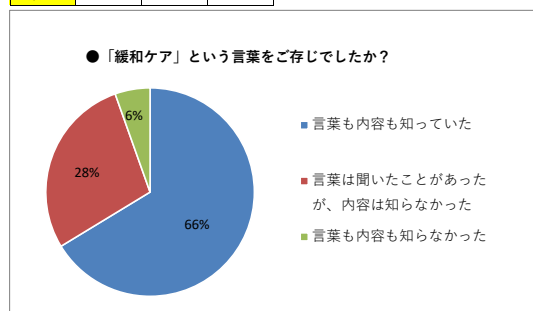
	がんと診断された時から受けるもの	がん治療と一緒に受けるもの	終末期になってから受けるもの	分からない
人数	43	14	22	10



2:緩和ケアの認識について教えてください

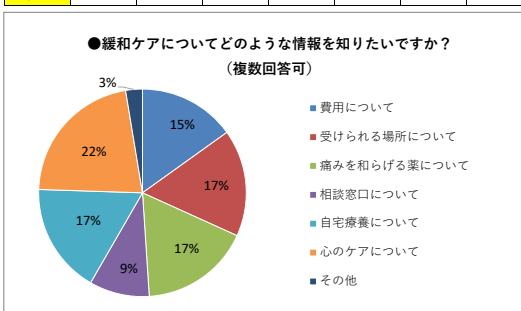
●「緩和ケア」という言葉をご存じでしたか？

	言葉も内容も知っていた	言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった	言葉も内容も知らなかった
人数	61	26	5



●緩和ケアについてどのような情報を知りたいですか？(複数回答可)

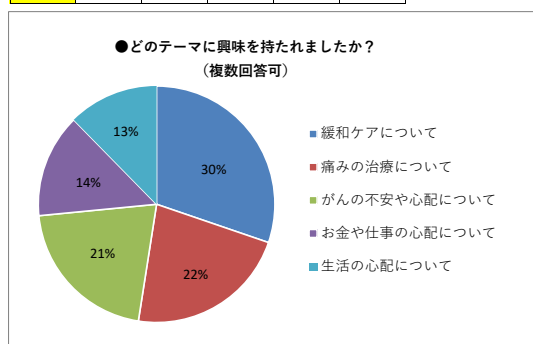
	費用について	受けられる場所について	痛みを和らげる薬について	相談窓口について	自宅療養について	心のケアについて	その他
人数	29	32	33	18	33	42	5



3:ミニレクチャーについて教えてください

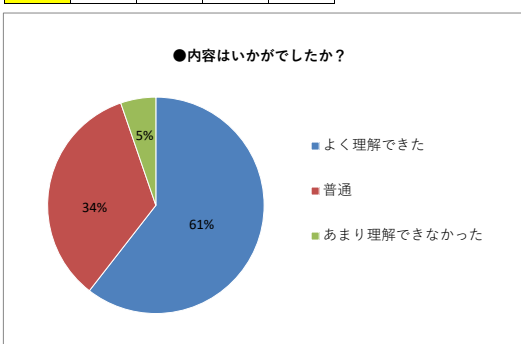
●どのテーマに興味を持たれましたか？(複数回答可)

	緩和ケアについて	痛みの治療について	がんの不安や心配について	お金や仕事の心配について	生活の心配について
人数	49	36	34	23	20



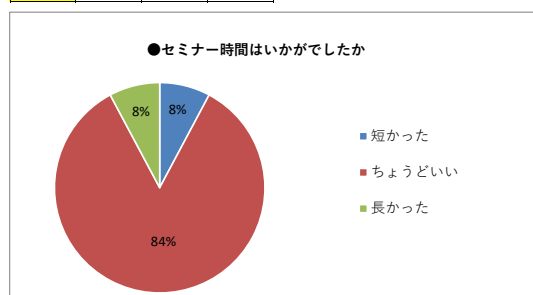
●内容はいかがでしたか？

	よく理解できた	普通	あまり理解できなかった	合計
人数	46	26	4	76



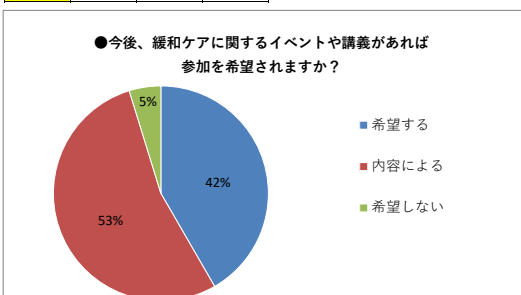
●セミナー時間はいかがでしたか

	短かった	ちょうどいい	長かった
人数	6	65	6



●今後、緩和ケアに関するイベントや講義があれば参加を希望されますか？

	希望する	内容による	希望しない
人数	35	45	4



厚生労働省委託事業における緩和ケア普及啓発活動について

2007年4月に施行された「がん対策基本法」では、がん患者の療養生活の質の維持向上のために、「緩和ケアの推進」を含めた必要な施策を講ずるものとされています。これを受け、厚生労働省は国民に対して、「緩和ケアは死を待つだけのあきらめの医療」といった誤解を解き、緩和ケアの正しい知識を広めることを目的とした緩和ケアに関する普及啓発活動の実施計画を立案しました。

特定非営利活動法人 日本緩和医療学会は、厚生労働省から「がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修等事業」の委託を受け、その一環として、2007年より委託事業委員会に緩和ケア普及啓発 WPG（設立当時は緩和ケア研修等事業推進委員会内の緩和ケア普及啓発作業部会）を設立し、普及啓発を目的とした活動を「Orange Balloon Project」と呼び、実施しています。

平成 27 年度の委託事業では、「知って身近に。もっと近くに。緩和ケア。」緩和ケア普及啓発キャンペーンとしてプレスセミナーならびに、街頭イベントや市民公開講座を実施し、国民に対して「緩和ケアに関する正しい知識」と「医療用麻薬の適正使用」についての普及啓発を実施しています。

ナディアパーク 愛知県名古屋市中区栄 3-18-1

名古屋駅より：名古屋市営地下鉄東山線・藤ヶ丘・星ヶ丘方面行で「栄駅」下車（所要約4分）、7・8番出口より徒歩（7分）。

「栄駅」で名城線・左回りまたは名港線・名古屋港方面行に乗り換え、「矢場町駅」下車（所要約2分）、5・6番出口より徒歩（5分）。

ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。



知って身近に。もっと近くに。緩和ケア

本イベントに関するお問い合わせ：

緩和ケア普及啓発キャンペーン事務局（オスカー・ジャパン株式会社内） TEL：0422-24-6811

主催：特定非営利活動法人 日本緩和医療学会
 後援：名古屋市、愛知県医師会、一般社団法人 日本がん看護学会、一般社団法人 日本サイコオンコロジー学会、
 一般社団法人 日本癌治療学会、公益社団法人 日本臨床腫瘍学会、公益社団法人 日本放射線腫瘍学会、
 一般社団法人 日本ペインクリニック学会

知って身近に。
 もっと近くに、
 緩和ケア。



がんになっても自分らしく暮らすために、緩和ケアの知識が役に立ちます。ぜひ、緩和ケアをもっと知り活用してください。

緩和ケアキャンペーン・
メッセンジャー

たかまつななさん
に聞く

「緩和ケアって？」



《名古屋・栄 ナディアパーク》
イベント開催！

平成 28 年 1 月 10 日（日）

無料
がん相談

- 街なかがん相談室
- パネル展示
- ミニレクチャー
- ボードアンケート
- ブース出展
- 公募作品の紹介

緩和ケアの今を専門家がわかりやすく解説します。
みなさんお誘い合わせのうえぜひご参加ください。
参加費は無料です。

ご参加
ください！

公募 ~あなたが「カづけられた」一言~

緩和ケア Web クイズ

《東京・霞ヶ関 イイノホール》
市民公開講座開催！

平成 28 年 2 月 11 日（木・祝）

参加無料



知って身近に。
もっと近くに、
緩和ケア。



キャンペーン・メッセンジャー

たかまつなな さん
に聞く

「緩和ケアって？」



緩和ケアとは、一言で申し上げますと・・・
「病気に伴う心と体の痛みを和らげること」
なのでございます。

だから・・・ がんと診断されたときからの緩和ケア。

緩和ケアは終末期を対象としたものと誤解されがちですが、本当は、がんという病気に伴う痛みやつらさを和らげるために、がんと診断されたときから、多職種の医療スタッフのチーム対応で提供されるケアなのでございます。

そして・・・つらさを和らげる医療用麻薬。

緩和ケアでは、痛みやつらさを和らげるために医療用麻薬というお薬が使われます。麻薬と言っても決して怖いものではなく、適切に使用することはがんの痛みにとっても有効なのでございます。

詳しくは・・・イベントにご参加ください。

身近に「緩和ケア」を知って、ご活用くださいませ！わたくしがナビゲートいたします。

たかまつなな：神奈川県出身の22才。中学・高校時代に読売新聞子ども記者団として活躍。第14代高校生平和大使として国際連合軍縮会議などに出席。慶應義塾大学・東京大学大学院情報学環教育部在学中の2013年「ワラチャン!～U-20 お笑い日本一決定戦～」優勝、お嬢様芸人としてブレイク、お笑いで社会問題を伝える「お笑いジャーナリスト」という新たなジャンルで活躍中。2015年緩和ケアキャンペーン・メッセンジャーに就任。

《東京・霞ヶ関 イイノホール》 市民公開講座開催！

平成28年2月11日（木・祝）

参加無料

平成28年1月10日（日）名古屋・栄でイベント開催！
GIFT～緩和ケアをもっと身近にあなたのもとへ～

参加無料

2016年1月10日（日） 10:30～17:00（相談室は16:00まで）
ナディアパーク 2階 アトリウム（イベント会場）

● 街なかがん相談室（受付はイベント会場にて、相談は6階セミナールームにて）
東海地区三県（愛知県・岐阜県・三重県）の病院や相談支援センターにご協力頂き、相談支援員や医療者による出張相談を行います。この相談室では「不安なことがあるけれどどこに相談すればいいのか分からない…」といった悩みに対して、ご相談者様と一緒に解決方法を考えていきます。

※具体的な治療法や施設の紹介など、お答え出来かねる場合もございます、予めご了承ください。

※街なかがん相談室の受付はイベント当日10:15より2Fイベント会場の相談受付でご予約を承ります。

● ミニレクチャー

緩和ケアの専門家が様々なテーマについて具体的にわかりやすくお話しします。

《ステージプログラム》※変更する場合があります。ご了承ください。

「緩和ケアってなに？」 下山 理史先生 愛知県がんセンター中央病院
10:30～/13:30～

「痛みの治療ってどんなもの？」 細川 豊史先生 京都府立医科大学
11:00～/14:00～

「がんの不安や心配はどうすればいいの？」 明智 龍男先生 名古屋市立大学病院
11:30～/14:30～

「お金や仕事の心配はどうすればいいの？」 粕田 剛資先生 名古屋大学医学部附属病院
12:00～/15:00～

「いろんな生活の心配はどうすればいいの？」 向井 未年子先生 愛知県がんセンター中央病院
12:30～/15:30～

公募紹介 ～がん治療の中で医療スタッフから「力づけられた」一言～ 13:00～
キャンペーン・メッセンジャー たかまつなな